



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 日水製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4550 URL https://www.nissui-pharm.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 小野 徳哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 谷津 精一 (TEL) 03-5846-5611
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,260	1.4	567	△14.4	575	△17.7	313	36.6
2019年3月期第2四半期	6,174	0.4	663	△15.0	698	△16.9	229	△65.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 304百万円(43.5%) 2019年3月期第2四半期 212百万円(△70.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	13.98	—
2019年3月期第2四半期	10.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	35,451	32,633	92.0
2019年3月期	35,901	32,827	91.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 32,633百万円 2019年3月期 32,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	20.00			
2020年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	6.0	1,330	1.3	1,420	2.5	1,014	29.2	45.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	22,547,140株	2019年3月期	22,547,140株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	152,519株	2019年3月期	152,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	22,394,667株	2019年3月期2Q	22,394,948株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

体外診断用医薬品の国内市場は、高齢化によりここ数年微増で推移しておりますが、政府による医療費抑制策の基調は変わらず、厳しい環境が続いております。再生医療分野では、2019年度中に複数の再生医療等製品の製造販売について薬事承認がおりる予定であり、再生医療等製品の供給拡大に向けた動きが活発になっております。

当社グループでは、経営方針として「長期的に持続的成長をする企業」を掲げております。この経営方針の実現に向けて、2019年度を起点とする2ヵ年の中期経営計画を新たに策定しました。「利益ある成長」「新たな企業イメージ醸成」「ステークホルダーへの還元」を重要課題として、事業の拡大、原価低減等のコスト削減、異業種テクノロジーの活用を推進しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ86百万円(1.4%)増加し62億60百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同期に比べ95百万円(14.4%)減少し5億67百万円、経常利益は前年同期に比べ1億23百万円(17.7%)減少し5億75百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ83百万円(36.6%)増加し3億13百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各セグメント別の状況は、概ね次のとおりです。

<診断薬事業>

売上高は前年同期に比べ28百万円(0.6%)増加し51億7百万円、営業利益は前年同期に比べ1億67百万円(16.8%)減少し8億32百万円となりました。

当事業の国内販売は、基幹病院や検査センターへの検査機器および製薬企業や食品企業への品質検査試薬の営業活動に注力しました。基幹病院や検査センター向けの検査では、結核菌などの抗酸菌検査のための自動遺伝子検査装置「TRCReady[®]-80」専用試薬(※東ソー株式会社)の売上が、測定用検査機器が順調に納入されたことにより前年同期に比べ2割増加しました。製薬企業や食品企業向けの検査では、昨年6月よりバイオメリュー・ジャパン株式会社から導入した微生物迅速検査製品群が売上に大きく貢献しました。

海外販売は、東南アジア(中国・モンゴル・インド・ベトナム・マレーシア等)、南米地域(エクアドル・アルゼンチン等)の新規代理店の増加により、菌数測定用乾式簡易培地「CompactDry[®]」の売上高が前年同期に比べ1割増加しました。また、引き続き海外子会社のNissui Pharma Solutionを軸に、「Mycro Finder[®]」の販売等、再生医療分野における海外展開を積極的に推進してまいります。

<医薬事業>

売上高は前年同期に比べ57百万円(5.3%)増加し11億53百万円、営業利益は前年同期に比べ89百万円(91.9%)増加し1億86百万円となりました。

当事業は、連結子会社の日水製薬医薬品販売株式会社において、健康未来創造研究会へ主力商品である「コンクレバン[®]」、「日水清心丸」、「シーアルパ[®]シリーズ」の拡売・新規会員店の獲得、その他の販路では機能性表示食品の拡売に注力しました。

上記の営業利益は、各事業に配賦できない支援部門に係る費用等4億51百万円が控除されておりません。

<研究開発活動等>

海外における食品衛生に関する市場開拓と品質管理への貢献を目的として、海外の「CompactDry®」利用者に向けて、AWS (Amazon Web Service) クラウドとAI (人工知能技術) を利用して迅速・簡単にコロニーのカウントができるアプリケーション「@BactLAB™」のサービスを開始しました。「@BactLAB™」でのグローバルクラウドを活用したデータ管理を行うことにより、食品製造に関連するサプライヤーや製造工場での品質管理の統一化が可能となります。今後はさらに、顧客グループ企業における本社の品質管理部門(QC・QA 統括部門)が、各拠点における原材料の受入・加工・製造・生産・出荷・品質保証までの工程管理の状況を、リアルタイムに把握することが可能となるシステムを目指し、海外市場における食品衛生の検査ビジネスを加速させてまいります。

2018年度に引き続き、新たなビジネス創出の機会として、将来有望と考えられる研究プロジェクトや独創的かつ萌芽的なアイデアなどを早期に発掘し、共同研究また実用化に通じる創成を目指す日水製薬オープンイノベーションプログラム「NeyeS」(エヌアイズ)の2019年度の公募を行いました。多くの研究機関からの応募に対して、当社研究課題とのマッチング、研究内容の独創性や有用性、研究計画の実現性等を審議し、決定する予定としております。「NeyeS」の活動を通じて、再生医療関連技術、細胞培養関連シーズおよび検査・検出技術などをテーマとして、基礎研究から臨床研究および検査・情報処理まで斬新でユニークなアイデアやノウハウ、将来的な医療に役立つシーズを探索し、支援してまいります。

当社は、外部企業との連携や大学等との共同研究に関するアライアンスやコア事業強化に向けた事業提携の調査を行い、これまでに4つのバイオベンチャー企業に出資を行っております。今後も、これら分野に関する企業への出資を積極的に行い、臨床現場で使用する製品や技術の開発に注力し、医療の進展に貢献してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億49百万円減少し354億51百万円となりました。これは主に有価証券5億0百万円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少し28億18百万円となりました。これは主に買掛金1億50百万円、未払消費税等27百万円、流動負債その他44百万円の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億94百万円減少し326億33百万円となりました。

この結果、自己資本比率は92.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ56億62百万円(114.7%)増加し105億97百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億94百万円の収入(前年同期は6億72百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億57百万円、減価償却費1億73百万円に対し、法人税等の支払額1億59百万円があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、56億32百万円の収入(前年同期は27億31百万円の支出)となりました。これは主に関係会社預け金のうち、預入期間3ヶ月以内の増加額51億円があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億65百万円の支出(前年同期は4億65百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、現時点では2019年10月17日に公表した業績予想から変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,401	4,490
受取手形及び売掛金	3,403	3,250
有価証券	500	—
商品及び製品	1,799	1,636
仕掛品	341	305
原材料及び貯蔵品	871	987
関係会社預け金	19,983	18,457
その他	140	214
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	29,406	29,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444	1,377
機械装置及び運搬具(純額)	374	334
土地	1,752	1,705
リース資産(純額)	34	25
建設仮勘定	78	96
その他(純額)	162	170
有形固定資産合計	3,848	3,709
無形固定資産		
ソフトウェア	72	65
リース資産	28	20
ソフトウェア仮勘定	1	—
その他	6	6
無形固定資産合計	109	93
投資その他の資産		
投資有価証券	2,203	1,992
繰延税金資産	49	49
その他	315	327
貸倒引当金	△31	△33
投資その他の資産合計	2,537	2,336
固定資産合計	6,494	6,139
資産合計	35,901	35,451

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,529	1,378
リース債務	37	37
未払法人税等	198	201
未払消費税等	77	49
賞与引当金	193	193
役員賞与引当金	16	20
歩戻引当金	10	11
その他	417	373
流動負債合計	2,481	2,267
固定負債		
退職給付に係る負債	2	2
リース債務	30	12
繰延税金負債	178	157
長期預り保証金	372	372
その他	7	6
固定負債合計	592	551
負債合計	3,073	2,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	22,960	22,774
自己株式	△100	△100
株主資本合計	32,688	32,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139	130
その他の包括利益累計額合計	139	130
純資産合計	32,827	32,633
負債純資産合計	35,901	35,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	6,174	6,260
売上原価	3,306	3,437
売上総利益	2,867	2,823
販売費及び一般管理費	2,204	2,255
営業利益	663	567
営業外収益		
受取利息	20	35
受取配当金	9	9
その他	15	6
営業外収益合計	45	51
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	—	40
デリバティブ評価損	5	3
為替差損	1	0
その他	2	0
営業外費用合計	9	43
経常利益	698	575
特別利益		
持分変動利益	—	11
固定資産売却益	—	4
特別利益合計	—	16
特別損失		
固定資産処分損	0	6
投資有価証券評価損	—	128
特別損失合計	0	134
税金等調整前四半期純利益	697	457
法人税、住民税及び事業税	237	161
法人税等調整額	231	△17
法人税等合計	468	144
四半期純利益	229	313
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	229	313

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	229	313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△8
その他の包括利益合計	△16	△8
四半期包括利益	212	304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212	304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	697	457
減価償却費	178	173
引当金の増減額(△は減少)	△19	2
受取利息及び受取配当金	△29	△44
支払利息	0	0
デリバティブ評価損益(△は益)	5	3
持分法による投資損益(△は益)	—	40
固定資産売却損益(△は益)	—	△4
持分変動損益(△は益)	—	△11
投資有価証券評価損益(△は益)	—	128
売上債権の増減額(△は増加)	9	150
たな卸資産の増減額(△は増加)	35	81
仕入債務の増減額(△は減少)	△69	△150
その他	63	△170
小計	873	654
法人税等の支払額	△200	△159
営業活動によるキャッシュ・フロー	672	494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社預け金の増減額(△は増加)	△2,300	5,100
有価証券の売却及び償還による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△171	△95
有形固定資産の売却による収入	—	102
無形固定資産の取得による支出	△35	△13
投資有価証券の売却及び償還による収入	100	0
投資有価証券の取得による支出	△355	—
利息及び配当金の受取額	31	39
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,731	5,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△18	△18
配当金の支払額	△446	△446
自己株式の増減額(△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465	△465
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,524	5,662
現金及び現金同等物の期首残高	15,029	4,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,505	10,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

セルジェンテック株式会社は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,078	1,095	6,174
セグメント利益	1,000	97	1,097

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,097
全社費用(注)	△434
四半期連結損益計算書の営業利益	663

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	診断薬事業	医薬事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,107	1,153	6,260
セグメント利益	832	186	1,019

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,019
全社費用(注)	△451
四半期連結損益計算書の営業利益	567

(注) 全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。